平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月9日

上場会社名　第一商品株式会社　　上場取引所　大
コード番号　8746　URL　http://www.dai-ichi.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 土肥　章
問合せ先責任者 (役職名) 総務本部長　(氏名) 岡田　義孝　TEL 03-3462-8011

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,792	△43.7	△613	―	△530	―	△369	―
24年3月期第2四半期	4,959	73.6	1,694	―	2,173	―	1,251	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△23.96	―
24年3月期第2四半期	80.91	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	41,839	8,282	19.8	536.51
24年3月期	41,087	8,967	21.8	580.55

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　8,282百万円　24年3月期　8,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	20.00	20.00
25年3月期	―	―			
25年3月期(予想)			―	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,810	21.8	3,210	148.0	3,420	95.5	2,098	127.2	135.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	16,227,207 株	24年3月期	16,227,207 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	789,942 株	24年3月期	779,942 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	15,441,239 株	24年3月期2Q	15,465,526 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、当初復興需要等を背景として緩やかな回復基調をたどりましたが、後半、欧州債務問題の再燃とともに世界経済の減速が再び懸念され始めると、回復の動きも足踏み状態となりました。また、長引く円高や緊迫する東アジア情勢等も、国内の生産や輸出の減退、企業収益の減少、個人消費の圧迫を招く要因となっており、全体的に弱含みへとシフトしつつあります。

当商品先物市場では、前年度から市場のけん引役を果たしていた金価格動向が、本年度に入ると新たな材料に乏しく、第１四半期中の値動きは調整局面が続き売買高は大幅に低下しました。しかし、第２四半期以降は底堅い動きから徐々に改善傾向が見られ始め、９月には米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）の量的金融緩和第３弾（ＱＥ３）の発表を受け好転するなど、再び上昇基調への回帰が期待されております。

一方、米国を始めとした世界的な異常気象から歴史的な干ばつ等が発生し、天候要因に大きく左右される穀物相場は連日高騰したものの、国内商品先物市場取引全体に占める穀物の割合は低く、貴金属市場の今期序盤のマイナスを補うには及ばず、第２四半期累計期間の国内商品先物市場売買高は26,034千枚（前年比27.3％減）となりました。

当社におきましては、従来からの金を中心とした資産運用提案にさらに磨きをかけ、営業の積極展開、情報サービス提供に加え、テレビＣＭ等により広範囲の啓蒙活動を推進してきた成果として、当社に対する多数の問合せからも反響の大きさを実感しております。また、金を取り巻く環境の改善により、第２四半期会計期間における営業収益は1,703百万円と第１四半期会計期間との比較で56.3%増加、四半期純利益についても108百万円の利益計上となりました。しかしながら、序盤における国内商品市場の売買高の不振が当社業績にも大きく影響し、当第２四半期累計期間における当社の商品先物取引売買高は352千枚にとどまり、前年同期比で39.2％の減少となりました。

この結果、当第２四半期累計期間における営業収益は2,792百万円(前年同期比43.7％減)、営業損失は613百万円（前年同期は1,694百万円の利益）、経常損失は530百万円（前年同期は2,173百万円の利益）、四半期純損失は369百万円（前年同期は1,251百万円の利益）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第２四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ751百万円増加し、41,839百万円となりました。

これは主に現金及び預金や委託者差金等が減少しましたが、差入保証金等が増加したこと等によるものです。

また、負債につきましては、前事業年度末に比べ1,437百万円増加し、33,557百万円となりました。

これは主に預り証拠金が2,009百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ685百万円減少し、8,282百万円となりました。

これは主に四半期純損失を369百万円計上し、配当金を308百万円支払ったこと等によるものです。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期業績予想につきましては、平成24年11月２日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失はそれぞれ1,700千円減少しております。

４．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,643,630	10,359,163
受取手形及び売掛金	68,809	28,082
委託者未収金	184,092	179,845
商品	623,364	614,126
貯蔵品	3,260	3,094
保管有価証券	4,435,504	4,446,746
差入保証金	11,867,282	16,343,680
委託者差金	5,530,601	2,735,369
外国為替取引預け金	879,959	1,165,067
その他	1,125,463	2,394,389
貸倒引当金	△6,919	－
流動資産合計	37,355,051	38,269,565
固定資産		
有形固定資産	576,814	571,302
無形固定資産	83,772	100,143
投資その他の資産		
投資有価証券	85,989	81,130
固定化営業債権	2,272,796	2,188,403
破産更生債権等	1,383,575	1,383,575
その他	1,918,713	1,683,803
貸倒引当金	△2,589,186	△2,438,421
投資その他の資産合計	3,071,888	2,898,490
固定資産合計	3,732,475	3,569,936
資産合計	41,087,527	41,839,502

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成24年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,134	41,818
未払法人税等	34,200	18,156
賞与引当金	83,494	44,649
役員賞与引当金	30,000	8,000
預り証拠金	26,311,978	28,321,161
預り証拠金代用有価証券	4,435,504	4,446,746
その他	653,209	266,854
流動負債合計	31,693,523	33,147,386
固定負債		
退職給付引当金	389,971	374,191
その他	6,018	900
固定負債合計	395,990	375,092
特別法上の準備金		
商品取引責任準備金	30,091	34,842
特別法上の準備金合計	30,091	34,842
負債合計	32,119,604	33,557,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,693,150	2,693,150
資本剰余金	2,672,071	2,672,071
利益剰余金	3,841,434	3,162,528
自己株式	△242,248	△245,957
株主資本合計	8,964,407	8,281,793
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,514	387
評価・換算差額等合計	3,514	387
純資産合計	8,967,922	8,282,180
負債純資産合計	41,087,527	41,839,502

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業収益		
受取手数料	4,765,023	2,666,049
売買損益	104,430	26,425
その他	90,534	100,170
営業収益合計	4,959,988	2,792,645
営業費用	3,265,246	3,406,475
営業利益又は営業損失（△）	1,694,742	△613,829
営業外収益		
受取利息	1,203	1,332
受取配当金	833	942
貸倒引当金戻入額	485,261	331,493
償却債権取立益	6,969	－
倉荷証券保管料	9,301	7,683
その他	5,104	3,058
営業外収益合計	508,673	344,509
営業外費用		
支払利息	513	300
貸倒引当金繰入額	－	253,253
為替差損	4,253	6,777
敷金償却費	2,000	853
取引所清算費用	23,495	－
その他	35	52
営業外費用合計	30,297	261,238
経常利益又は経常損失（△）	2,173,118	△530,558
特別利益		
固定資産売却益	－	103
商品取引責任準備金戻入額	196,941	82,774
特別利益合計	196,941	82,878
特別損失		
固定資産除売却損	373	34,904
商品取引責任準備金繰入額	190,491	87,525
投資有価証券評価損	7,497	－
特別損失合計	198,363	122,430
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	2,171,696	△570,111
法人税、住民税及び事業税	76,770	10,861
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	－	1,843
法人税等調整額	843,594	△212,855
法人税等合計	920,365	△200,150
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,251,331	△369,960

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。